

タイトルは明朝 12pt で中央揃え

日本自然災害学会学術講演会概要集執筆要領

発表者に○を

上下マージン各 18 mm
左右マージン各 15 mm

自然大 自然研
災害大 災害学部

自然 太郎・○災害 花子
学術 要

Keywords: 新フォーマット, 要旨, 中央揃え, 講演概要集, 質確保

本文は 10pt

明朝または Times New Roman が標準

1. はじめに

見出しはゴシック 10pt

この文書では、自然災害学会学術講演会における要旨のフォーマットについて説明をします。論文内容は原則として未発表のものとし、一般会員が容易に理解できるように、申し込み時の概要に沿って、目的、考え方、結論をわかりやすく記述してください。

2. フォーマット

用紙の大きさは A4 サイズ (縦) とし、1 題目につき 2 ページです。フォーマットはこの文書に従ってください。詳細を以下に示します。

- (1) 原稿は MS-WORD 等のワープロソフト等を用いて作成してください。
- (2) 上下マージン各 18 mm, 左右マージン各 15 mm の枠内に文字数 48 文字, 行数 42 行で記述してください。
- (3) 第 1 ページは論文題目を第 1 行に中央揃え明朝 12pt で書きます。続いて, 1 行空けて所属先, 著者名 (連名の場合は発表者に○印) を右側に寄せて書き, 改行してキーワード (3~5 個), 1 行空けて本文を書き出してください。第 2 ページは第 1 行から書いてください。章間の空白行は不要です。
- (4) フォントは, 見出しはゴシック 10pt, 本文やキャプションなどは明朝 10pt または Times New Roman 10pt としてください。
- (5) 図表・写真は原稿に直接記入してください。鮮明なものを用いてください。番号を順に図-1, 図-2, ... のように付けます。図のキャプションは図の下側に, 表のキャプションは表の上側に付けてください。
- (6) 数量を表す数字はアラビア数字とし, 単位は原則として国際単位系 (SI) を使用します。従来単位系を用いる場合は, かつこ書きで SI 単位系を併記してください。
- (7) 句点は「。」, 読点は「,」を用いてください。

3. 文献の引用方法

本文中での文献の引用は, 引用順に, 肩付き, 片かっこで引用箇所に通し番号を記載することによって行います。同一文献は同一番号とします。文献が複数にわたる場合は, 1), 2)・・・あるいは2)~5) などと表記します。引用した文献は引用順に番号を付け, 本文末に参考文献としてまとめて記載します。参考文献の書き方は, 雑誌「自然災害科学」に従いますが, この文書の例を参考にしてください (論文名の capitalization は行わない)。

4. 終わりに

要旨の記述・提出にあたっては, 講演概要集および発表の質の確保の取り組みをお読みいただき質の確保にご協力ください。

参考文献

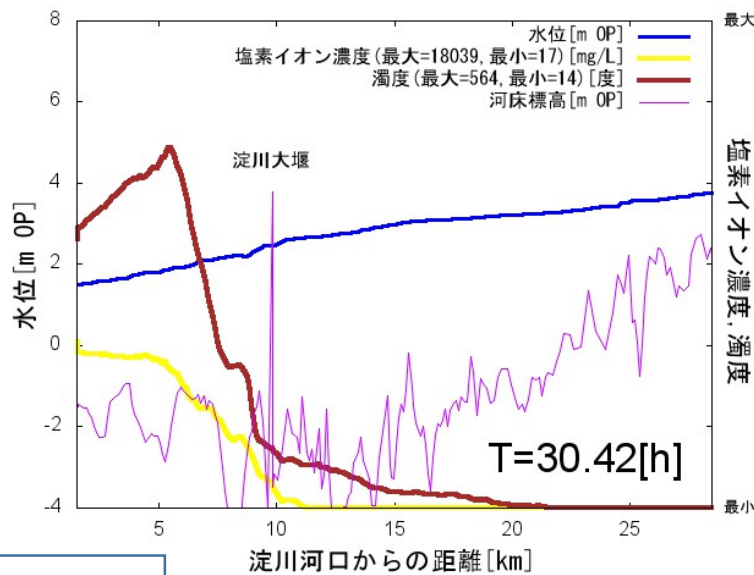
- 1) 古川俊之: 社会指標から見た文明と寿命, 高齢化社会の構造 (太田邦夫・阿部 裕・古川俊之編), サイエンス社, pp. 36-55, 1981.
- 2) 岡内 功・伊藤 学・宮田利雄: 耐風構造, 丸善, 418p., 1977.
- 3) Babb, A. F., J. P. Schneider and T. Kenneth: Air flow in combined intake and spillway, Proc. ASCE, Vol. 99, HY7, pp. 1097-1108, 1980.

- 4) 河田恵昭：防災ポテンシャルの評価法，自然災害科学，Vol. 9, No. 1, pp. 1-16, 1990.
- 5) Adachi, T., F. Oka and M. Mimura: Mathematical structure of an overstress elasto-viscoplastic model for clay, Soils and Foundations, Vol. 27, No. 4, pp. 31-42, 1987.
- 6) Adachi, T., F. Oka and M. Mimura: An elasto-viscoplastic theory for clay failure, Proc. 8th Asian Regional Conf., SMFE, Vol. 1, pp. 5-8, 1987.
- 7) 気象庁，気象統計情報，<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>，2017年8月31日.

表のキャプションは上
明朝または Times New Roman10pt

表-1 日ごとの来場者数。

日付	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6
来場者数 (人)	4120	2534	3511	3942	3282	1889



図のキャプションは下
明朝または Times New Roman10pt

図-1 塩分遡上の様子。

講演概要集および発表の質確保の取り組み

下記の場合，講演をお断りする可能性があります。最終的な判断につきましては，学術講演会部会に一任下さい。

- 期日までに原稿の提出が行われない場合
- 要旨原稿が所定の執筆要領から著しく逸脱している場合
- 内容が自然災害研究と無関係な場合
- その他，学術講演会部会において不適切であると判断された場合